

式辞

保護者の皆様、ご子息・ご令嬢の卒業、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

通常であれば、多くのご来賓のご臨席を賜り、高等学校第五二回卒業式を一同に挙行するところでありましたが、コロナ禍ゆえの対応、感染対策を講じての実施とさせていただくこととなりました。ご理解をいただければ幸いです。

本日、卒業式を迎えられることは、卒業生・保護者はもとより、我々教職員にとっても、この上もない喜びとするところであります。また、保護者の皆様、晴れがましい我が子の姿を目の当たりにされ、感慨もひとしおかと存じます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は、社会生活のみならず学校生活にも大きな影響を与えました。高校時代における一生の思い出となる、多くの学校行事や研修・部活動の大会などがことごとく中止・延期となりました。さぞや無念であったことと思います。しかし、そのような中でも自然は遅しく、寒さの厳しかった今年の冬を乗り越え、ようやく春の兆しを見せ始めました。三年前、皆さんの入学を満開で迎えた本校敷地内八八本の桜も、しっかりとした蕾を節々につけ、生命の息吹を感じさせています。その様子は力強く、まさに今日の佳き日を祝福しているかのようです。

ここで一八年前、皆さんの生まれたころの出来事を思い起こしてみましょう。内閣総理大臣・小泉純一郎、新紙幣発行（一万円札・福澤諭吉、五千円札・樋口一葉、千円札・野口英世）、アテネ五輪で日本選手大活躍（メダル最多三七個）、シアトルマリナーズのイチロー選手（シーズン最多安打記録、八四年ぶりに更新）、流行語大賞は（アテネ五輪男子百メートル平泳ぎ金メダル・北島康介選手の、チョー気持ちいい）、ヒット商品は（デジタルカメラ）、ヒット曲一位は（瞳をとじて・平井堅）、流行は（マツケンサンバ）などがあげられます。それから一八年、立派に成長した皆さんは、一人の大人として社会と関わり、責任を果たしていく時を迎えました。成人年齢は、一八歳に引き下げられ、親の同意がなくてもクレジットカードが作成でき、契約内容を丁寧に確認するなど、大人としての責任が生じることを踏まえた行動が求められるようになりました。今、コロナなど大変な時期に大人の仲間入りをすることになりますが、後ろ向きに考えるだけでは展望は開けません。未来を切り開いていくことができるのもまた、若さの特権と前向きに考えてもらいたいと思います。

これから更なる学びの場へ旅立つ皆さん、論語にある【子、四つを以て教う。文、行、忠、信。】を大切にしていきたいと思います。『文』書物を読んで知識を得ること。『行』学問から得た知識を実践行動すること。『忠』ま心を尽くすこと。『信』約束ごとを守って、信頼を得ること。ぜひ教えを今後に生かしてください。

終わりにになりましたが、三年間にわたって卒業生を温かく見守り、本校の教育に多大なご支援を賜りました関係者の皆様、並びに本校父母の会・松柏会の皆様に厚く御礼申し上げ、あわせて今後とも変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げますとともに、二六九名の卒業生一人ひとりの限りない前途に幸多からんことを心より願い、式辞といたします。

二〇二三年三月三日
二松学舎大学附属柏中学校・高等学校
校長 七五三 和男